

成田の外国人客 最高に

昨年度、国際線21%増 日本人に迫る



成田空港を利用する外国人が急増している。2015年度の外国人の国際線旅客数は1290万人で14年度と比べて21%増えた。2年続けて最高を更新し、1310万人だった日本人旅客数にも迫った。15年に第3旅客ターミナルビルを格安航

空会社（LCC）専用施設として開業し、中国などアジアからの旅行者が大幅に増えた。

成田空港の15年度の国際線発着回数は前年度比3%増の18万3635回と8年ぶりに最高を更新した。LCCを中心に新規路線の開設が相次いだことが背景だ。一方で日本人の国際線利用は、欧州のテロ事件などで海外

旅行を控える動きもあり3%減った。

今年度中にも外国人利用が日本人を上回る可能性がある。成田国際空港会社の夏目誠社長は「外国人が使いやすい空港にしていこう」と意気込む。急拡大する外国人旅客をどこまで取り込めるかが空港の競争力に直結する。成田空港は外国人の利用を増やしているが、都心に近い羽田空港は国際線発着枠を増やし、成田空港を追い上げている。関西国際空港は2月の外国人入国者数で初めて成田空港を上回った。

今年度はチェックインカウンターの混雑緩和に取り組む（成田空港第3ターミナル）